

古澤滋 ふるさわ じ 政論家、官僚。弘化四年一月十一日土佐國生れ、明治四十四年十一月二十四日歿（八四七一九二）。號介堂、古澤迂郎、立花光臣、雨樓等。名教館教授古澤南洋の文男。文久二年父の命により兄や父の門弟等と下洛、討幕運動に加はる。維新後、イギリス留学。明治七年板垣退助等と愛國入黨を組織し、「民撰議院設立建白書」を提出、自由民権運動の魁なづなとなつた。「大阪日報」社長、「自由新聞」主筆のち官界に入り、奈良、山口、石川の各縣知事を歴任。二十七年貴族院議員。漢詩を能くしむ。



遺稿『介堂存稿』（昭和八年五月五日山下魏八郎刊）。